

平成30年6月20日

保護者 様

千葉大学教育学部附属特別支援学校  
校 長 細川 かおり

### 平成29年度学校評価アンケートの結果について

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

平成29年度学校評価についてですが、3月にアンケート結果を報告させていただきましたが、5月12日に行われました、千葉大学教育学部附属学校学校評議員会での評価を踏まえたものを、再度、ご報告させていただきます。

※(A=そう思う)(B=まあまあそう思う)の合計数値を肯定的評価として、自己評価をしています。

#### I 情報発信・連携について

(自己評価)保護者の皆様からは、全ての項目において、80%以上の肯定的評価をいただきました。項目1につきましては、肯定的評価が7ポイント上がっていますが、次年度も学校目標や学校運営の重点目標を説明する機会を確保し、これまで以上に、ていねいな説明を心がけていきたいと思っております。項目3については、肯定的評価が3ポイント上がっていますが、今後もホームページの有効活用を続けていきます。

(学校評議員)

- ・2030年を考えた特別支援教育の在り方について、今後もリーダーシップを図って欲しい。
- ・昨年度の公開研究会に参加をしたが、各学部がポスター発表を行っている様子を見た。参加者が熱心にメモをとっていた。今後も発信を続けて欲しい。
- ・就学相談会、ホームページを活用し、進路指導の取り組みを伝えてはどうか。保護者はその時の子どもへの関わりに精一杯で、なかなか子どもの先を見通すことが難しい。特に幼児期の保護者は、高等部や卒業後の姿が見えにくいので、安心感につながる。
- ・学校評価は、職員と保護者だけで良いのか。都内では、生徒によるもの、進路先、地域等の評価も含めている。

#### II 環境・安全について

(自己評価)項目6につきましては、肯定的評価が1ポイント上がりましたが、毎年、厳しい評価をいただいております。老朽化による部分は、今後、改修工事が入る予定ですが、整理整頓については、学校内の努力によるものなので、全職員で意識をしていきます。項目9につきましては、肯定的評価が4ポイント下がっています。適切な初期対応を心がけ、保護者への連絡もしっかりと行っていきたいと思っております。

#### III 年間計画・行事について

(自己評価)項目12については、肯定的評価が10ポイント上がっていますが、項目13は4ポイント下がっています。学校行事や儀式行事については、今後も内容を精選し、子どもたちが「何を学ぶのか」を明確にした取り組みを進めていきたいと思っております。

(学校評議員)

- ・働き方改革については、「年間の計画は教職員、子ども、家庭にとって無理のない、適切なものになっている」において、あまりそう思わない、そう思わないが合わせて30%の回答が教職員からある。共に考えなければならないことである。

#### IV 教育活動について

(自己評価) 8項目のうち5項目で90%以上の肯定的評価をいただきましたが、項目18と22では、職員と保護者の評価に差がありました。今年度、新たに追加した項目ですが、評価を真摯に受け止め、学校としての取り組みを見直す機会にしたいと思います。

(学校評議員)

- ・附属の取り組みは県全体で参考にさせてもらいたいので、より成果を発信して欲しい。特に授業作りでは、「各教科等を合わせた指導」を中心として研究していることから、新学習指導要領に合わせて、単元をより良いものにする研究成果報告をお願いしたい。
- ・高等部の清掃の取り組みが良い。分担場所に名前と写真が貼ってあり、責任感や達成感を感じられる。
- ・子どものパニックの対応など、若い先生たちが負担に感じたり、迷ったりすることも多い。メンタル面でのサポートをお願いしたい。
- ・ICTの活用の充実を。販売会等で活用場に広がりを持たせていくようにして欲しい。そして発信をお願いしたい。
- ・研究では、是非、「各教科等を合わせた指導」の評価、教科的視点について研究をし、発信して欲しい。
- ・今後の附属学校が、「障害者の生活全般を支える取り組み」、「特徴を打ち出した附属独自の取り組み」、「新学習指導要領に沿った取り組み」どこを柱に存続していくのかを考えていかなければならない。

#### V 職員について

(自己評価) 全ての項目において、90%以上の肯定的評価をいただきました。しかし、項目25では、C(あまり思わない)、D(そう思わない)が合わせて6ポイントありました。本校の職員に対する信頼や期待に対するご意見と受け止め、職員一人一人が心がけていきます。

#### VI 児童・生徒について

(自己評価) 全ての項目において、80%以上の肯定的評価をいただきました。しかし、どの項目でもC(あまり思わない)の回答があることを真摯に受け止め、今後も子ども主体の学校生活づくり、教師と子どもがともに活動し、「感じ合い、わかり合い、支え合う」学校を目指していきます。

※学校評議員は、「千葉大学教育学部附属学校学校評議員規程」により、教育に関する理解があり、識見を有する者のうちから、校長の推薦により、学長が委嘱した方々です。

堀子 榮	様	(千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課長)
佐川 桂子	様	(千葉県特別支援学校長会会長・千葉県立君津特別支援学校長)
前田 周一	様	(市原市教育委員会教育長)
菅野 敦	様	(東京学芸大学教育実践研究支援センター教授)
島田 貴美代	様	(千葉市手をつなぐ育成会会長)



学校評価アンケートのまとめ

- (1) 対象者：保護者（回収率92.5%） 教職員（90%）  
 (2) アンケート項目：保護者28項目 教職員32項目 ※1から28項目までは共通  
 以下、質問項目及び結果を示す。

【評価基準】 A=そう思う B=まあまあそう思う . . . . . 肯定的評価  
 C=あまりそう思わない D=そう思わない . . . . . 否定的評価  
 ※斜線は、H29新設の項目ため比較データ無し

I 情報発信・連携

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	H29	H28
								肯定的評価	肯定的評価
1	保護者に、学校目標や学校運営の重点目標をわかりやすく伝えている。	保護者	36%	52%	10%	2%		88%	81%
		職員	25%	64%	11%	0%		89%	89%
2	保護者に、各種たよりや連絡帳等で、必要な情報や子どもの様子をわかりやすく伝えている。	保護者	66%	26%	8%	0%		92%	91%
		職員	79%	21%	0%	0%		100%	100%
3	ホームページや学校公開（土曜スクール、学校見学会、オープンスクール）、公開研究会等で学校のことを外部に発信している。	保護者	48%	42%	10%	0%		90%	87%
		職員	79%	18%	0%	4%		96%	91%
4	担任や学校は、保護者の声に耳を傾けて、連携を取りながら、教育活動や学校運営を行っている。	保護者	68%	26%	6%	0%		94%	89%
		職員	68%	32%	0%	0%		100%	97%
5	学校は、関係機関（大学、地域の自治体や学校等）と連携が図られている。	保護者	38%	48%	14%	0%		86%	81%
		職員	19%	59%	22%	0%		78%	86%

II 環境・安全

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	H29	H28
								肯定的評価	肯定的評価
6	学校内は、美化・整理整頓が行き届き、清潔感がある。	保護者	16%	58%	24%	2%		74%	73%
		職員	7%	57%	36%	0%		64%	57%
7	子どもが安心して学べるよう、安全な校内環境になっている。	保護者	36%	48%	14%	2%		84%	斜線
		職員	21%	64%	14%	0%		86%	斜線
8	校内に掲示されているお子さんの作品や活動の様子は、分かりやすいものになっている。	保護者	64%	30%	6%	0%		94%	斜線
		職員	50%	46%	0%	4%		96%	斜線
9	子どものけがや病気が発生した時の対応は適切に行っている。	保護者	56%	38%	4%	2%		94%	98%
		職員	50%	32%	18%	0%		82%	92%
10	学校は、災害への対応や、事故を防ぐための対応など、安全管理や危機管理に努めている。	保護者	38%	58%	2%	2%		96%	88%
		職員	61%	36%	4%	0%		96%	86%

III 年間計画・行事

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	H29	H28
								肯定的評価	肯定的評価
11	年間の計画は教職員、子ども、家庭にとって無理のない、適切なものになっている。	保護者	52%	38%	4%	6%		90%	90%
		職員	21%	50%	25%	4%		71%	72%
12	魅力のある学校行事（運動会やふよう祭など）が実現されている。	保護者	49%	39%	10%	2%	1人	88%	78%
		職員	43%	46%	11%	0%		89%	97%
13	入学式・卒業式など儀式行事は、趣旨に合った適切なものとなっている。	保護者	56%	36%	4%	4%		92%	96%
		職員	50%	46%	4%	0%		96%	100%
14	各学部の行事は、子どもたちの発達段階に応じた適切なものとなっている。	保護者	54%	38%	6%	2%		92%	85%
		職員	46%	54%	0%	0%		100%	97%



#### IV 教育活動

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	H29	H28
								肯定的評価	肯定的評価
15	教育活動は、子どもたちが自分から目当てと見通しをもって意欲的に取り組める内容となっている。	保護者	54%	42%	2%	2%		96%	91%
		職員	43%	54%	4%	0%		96%	91%
16	各学部の教育活動は、卒業後、自立し、働く活動を中心とした社会生活につながるような内容となっている。	保護者	36%	56%	4%	4%		92%	91%
		職員	25%	71%	4%	0%		96%	94%
17	教育課程の中心となっている、遊び、日常生活の指導、生活単元学習や作業学習は、児童生徒の成長に十分効果を発揮している。	保護者	44%	48%	6%	2%		92%	92%
		職員	54%	43%	4%	0%		96%	100%
18	進路に関する情報の提供や研修会は十分に行われている。	保護者	58%	26%	12%	4%		84%	
		職員	43%	54%	4%	0%		96%	
19	遊び、生活単元学習、作業学習は、他の取り組み（例えば、自立活動や職業/家庭）と連携が図れている。	保護者	37%	45%	16%	2%	1人	82%	
		職員	25%	64%	11%	0%		89%	
20	「元気なからだを作るため」の体育的な取り組みや、安全・衛生面の関心態度形成・意識付けに関わる取り組みは、適切に行っている。	保護者	42%	50%	4%	4%		92%	
		職員	32%	57%	11%	0%		89%	
21	個別の教育計画（個別の指導計画、個別の教育支援計画、個別の移行支援計画）について保護者と十分話し合い、経過や結果について丁寧な説明をしている。	保護者	60%	34%	6%	0%		94%	91%
		職員	46%	50%	4%	0%		96%	100%
22	パソコンやタブレットなどのICT機器を活用した取り組みは、有効に行われている。	保護者	18%	41%	35%	6%	1人	59%	
		職員	29%	61%	11%	0%		89%	

#### V 職員

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	H29	H28
								肯定的評価	肯定的評価
23	教職員は、熱意と情熱をもって教育活動にあたっている。	保護者	64%	32%	2%	2%		96%	94%
		職員	68%	29%	4%	0%		96%	91%
24	教職員は、子どもの気持ちを受け止めてきめ細かく対応している。	保護者	60%	38%	0%	2%		98%	92%
		職員	54%	43%	4%	0%		96%	94%
25	教職員の言葉遣い・態度など、職業人としてのマナーは適切である。	保護者	60%	34%	4%	2%		94%	96%
		職員	43%	50%	7%	0%		93%	89%

#### VI 児童・生徒

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	H29	H28
								肯定的評価	肯定的評価
26	子どもは、「今日に満足し、明日を楽しみに待つ」学校生活を過ごせている。	保護者	66%	22%	12%	0%		88%	
		職員	39%	57%	4%	0%		96%	
27	子どもが、自分からやろうとすること（自分でやりたいと思うこと）が増えてきている。	保護者	58%	30%	12%	0%		88%	93%
		職員	57%	39%	4%	0%		96%	100%
28	子どもに、挨拶や着替え、社会のルール、働くことの意義など自立するために必要な力が身に付いてきている。	保護者	44%	38%	16%	2%		82%	92%
		職員	39%	61%	0%	0%		100%	100%

#### VII 附属の役割

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	H29	H28
								肯定的評価	肯定的評価
29	研究校として、実践的研究を行い、有用な取り組みを外部に発信している。	職員	43%	54%	4%	0%		97%	83%
30	県内や地域における特別支援教育の推進に努めている。	職員	21%	57%	18%	4%		78%	75%
31	大学や教育学部と連携が図られ、お互いに必要な関係となっている。	職員	29%	54%	14%	4%		83%	86%
32	教育実習生に必要な適切な指導を行い、有為な教員養成を行っている。	職員	25%	61%	14%	0%		86%	75%

### 保護者の肯定的評価



■ そう思う ■ まあまあそう思う

### 職員の肯定的評価



■ そう思う ■ まあまあそう思う